

## 第21回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時:令和2年8月27日(木)14:00~16:00

場所:山梨県立図書館(多目的ホール)

### ■委員会出席者

早稲田大学 理工学術院

創造理工学部社会環境工学科 教授

(一社)山梨県タクシー協会長

山梨経済同友会代表幹事

(一財)山梨県交通安全協会専務理事

中日本高速道路(株)八王子支社

総務企画部 企画調整課 担当課長

高速道路事業部 交通管制課 課長

甲府保全・サービスセンター所長

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局首席運輸企画専門官

山梨県観光文化部観光文化政策課長

山梨県県道整備部道路整備課長

山梨県県土整備部道路管理課長

山梨県警察本部交通部交通規制課長

国土交通省 関東地方整備局甲府河川国道事務所長

佐々木 邦明(委員長)

雨宮 正英

入倉 要

輿石 靖

恩田 雅也

(代理:課長代理 登坂 愛)

西田 匡志

坂下 淳

和田 喜則

村松 久

秋山 久

(代理:道路企画監 宮下 喜樹)

風間 辰也

内藤 智

(代理:規制第一係長 和田 康平)

濱谷 健太

## ■議事内容

### <規約改正>

規約改正について

### <渋滞対策>

- ①委員会の検討経緯と今回の論点
- ②前回委員会意見への対応
- ③去年度を実施した対策の状況
- ④プローブデータ移行について
- ⑤主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)
- ⑥渋滞対策の進捗状況確認
- ⑦渋滞対策箇所の効果確認
- ⑧ピンポイント渋滞対策の検討状況
- ⑨道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討
- ⑩コロナ情勢に伴う交通状況分析
- ⑪交通アセスメントの取り組み状況委員会の検討経緯と今回の論点

### <交通安全対策>

- ①本委員会の論点
- ②前回委員会(第20回)の振り返り
- ③幹線道路の事故対策(事故ゼロプラン)について
- ④近年の交通事故課題
- ⑤今後のスケジュール

## ■審議結果

### ●渋滞対策関係

#### <決定事項>

- ・ 分析データを、民間プローブデータから ETC2.0 データへ移行することで、了承を得た。

#### <議事内容>

#### 【質問・意見】

- ・ コロナ情勢に伴う交通状況分析の中で、小型車の高速道路利用率はどのように計算しているのか教えてください。また、その変動した理由は、一般道が空いたことで高速道路を使わなかったことから、高速道路利用率が減少した、という理解でよいか。

#### 【回答】

- ・ 今回設定した断面における国道20号と中央道を通ったETC2.0搭載車両の台数から、中央道の割合としている。
- ・ 緊急事態宣言期間においては、小型車の交通量が全体的に減っているため、一般道が空いたということと、高速道路を利用するような交通自体が減っているという可能性が考えられる。

【委員長】

- ・ ETC2.0 の普及率が 5%程度のため少し特殊な車であるという可能性があるものの、この期間は県間の移動を控えるように言われて長距離の移動が減少した。そのため高速道路を使うような車も少なくなったのではないかと思う。

【委員長】

- ・ 資料にあるように、バスデータが交通渋滞対策等の効果確認などに使えるかどうか検討してほしい。また、バスデータを利用して、今後も様々な分析をしていただいて情報を提供していただきたい。

【事務局回答】

- ・ 了解した。

【委員長】

- ・ 本委員会では分析データを、民間プローブデータから ETC2.0 データに移行することで、了承。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・ 現行の事故ゼロプランに選定された事故危険区間の対策進捗状況や、事故ゼロプランの取組み成果と課題について報告した上で、第2次事故ゼロプランの取組みに着手するにあたり、事故危険区間の見直し方針、対策完了判断基準について了承された。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・ 近年、ゲリラ豪雨などの自然災害が多く発生しているが、洪水ハザードマップなどで被害が想定される幹線道路への自然災害対応策などについては検討されているか。

【事務局回答】

- ・ 雨が降った時に冠水が想定される箇所など、被害が想定される箇所については、事前に通行止めなどの対策を実施している。
- ・ 道路冠水注意箇所(山梨県)マップにある。雨が降った際に冠水が想定される箇所については、事前に通行止めなどの対策を実施している。

【委員長】

- ・ 高齢者安全対策に関しては様々な関係団体と協働して、安全対策の推進を図ってほしい。また、高齢者事故を減らす取組みの一環として、運転免許証の自主返納が挙げられるが、自主返納が進まないといった課題も挙げられる。自主返納が進まない理由として、公共交通の利便性が低いこと等が考えられるため、公共交通等も含めて事故対策について検討できればと思う。
- ・ また、県内の ITS スポット数について教えていただきたい。ITS スポットの増加により、一般道における ETC2.0 データの増加が図られることを期待する。

【事務局回答】

- ・ ITS スポット数については、手元に資料がないので確認し、次回までに報告する。

【委員長】

- ・ 今回の提案事項については了解いただいた。この通り推進し、今後の委員会にて報告すること。



第21回委員会の実施状況